

Cisco適応型セキュリティアプライアンスソフトウェアおよびFirepower脅威対策ソフトウェアのSAMLアサーションハイジャックの脆弱性



アドバイザーID : cisco-sa-asaftd-saml-hijack-ttuQfyz [CVE-2023-20264](#)

初公開日 : 2023-11-01 16:00

バージョン 1.0 : Final

CVSSスコア : [6.1](#)

回避策 : No workarounds available

Cisco バグ ID : [CSCwf85757](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco適応型セキュリティアプライアンス(ASA)ソフトウェアおよびCiscoFirepower脅威対策(FTD)ソフトウェアにおける、リモートアクセスVPN用のSecurity Assertion Markup Language(SAML)2.0シングルサインオン(SSO)の実装における脆弱性により、認証されていないリモートの攻撃者が、リモートアクセスVPNセッションに認証するユーザのSAMLアサーションを傍受する可能性があります。

この脆弱性は、ログインURLの検証が不十分であることに起因します。攻撃者は、攻撃者の制御下にあるサイトにユーザを誘導してログインURLを変更させることで、この脆弱性を不正利用する可能性があります。エクスプロイトに成功すると、攻撃者はSAMLアサーションを代行受信し、そのアサーションを使用して、ハイジャックされたユーザのIDと権限を使用して該当デバイスへのリモートアクセスVPNセッションを確立し、保護されたネットワークにアクセスできるようになります。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェアアップデートをリリースしています。この脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザーは、次のリンクより確認できます。

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-asaftd-saml-hijack-ttuQfyz>

このアドバイザーは、Cisco ASA、FTD、およびFMCセキュリティアドバイザーバンドル公開の2023年11月版リリースの一部です。アドバイザーの完全なリストとそのリンクについては、『

[Cisco Event Response: November 2023 Semiannual Cisco ASA, FMC, and FTD Software Security Advisory Bundled Publication](#)』を参照してください。

該当製品

脆弱性のある製品

この脆弱性の公開時点で、次のいずれかのシスコソフトウェアリリースを実行し、SAML 2.0 SSOを使用してリモートアクセスVPNを設定しているシスコ製品に影響が及びました。

- ASAソフトウェアリリース9.18.3から最初の修正リリースへ
- FTDソフトウェアリリース7.2.4から最初の修正リリースへ

脆弱性が存在する Cisco ソフトウェアリリースについては、このアドバイザリの「修正済みソフトウェア」セクションを参照してください。

VPN SAML認証設定の確認

認証にSAML 2.0を使用するようにリモートアクセスVPNサービスが設定されているかどうかを確認するには、`show running-config tunnel-group` CLIコマンドを使用します。トンネルグループの`webvpn-attributes`セクションに`authentication saml`が含まれている場合、そのデバイスには脆弱性が存在します。次の出力は、脆弱性のある設定を示しています。

```
<#root>
device#
show running-config tunnel-group

tunnel-group SAMLauth type remote-access
.
.
.
tunnel-group SAMLauth
webvpn-attributes

.
.
.

saml identity-provider
  SAMLidp

authentication saml

device#
```

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

このアドバイザリの[脆弱性のある製品セクションに記載されている製品のみが、この脆弱性の影響を受けることが分かっています。](#)

シスコは、この脆弱性が Cisco Firepower Management Center (FMC) ソフトウェアに影響を及ぼさないことを確認しました。

回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

修正済みソフトウェア

[ソフトウェアのアップグレード](#)を検討する際には、シスコ セキュリティ アドバイザリ ページで入手できるシスコ製品のアドバイザリを定期的に参照して、侵害を受ける可能性とアップグレードソリューション一式を確認してください。

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成が新規リリースで引き続き正しくサポートされていることを十分に確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center (TAC) もしくは契約しているメンテナンスプロバイダーにお問い合わせください。

Cisco ASA、FMC、および FTD ソフトウェア

お客様が Cisco ASA、FMC、および FTD ソフトウェアの脆弱性に対するリスクを判断できるように、シスコは Cisco Software Checker を提供しています。このツールを使うことで、特定のソフトウェアリリースに関連するすべてのシスコ セキュリティ アドバイザリを検索でき、それぞれのアドバイザリで言及された脆弱性を修正した最初のリリース (「First Fixed」) を特定できます。また、該当する場合には、Software Checker により判別されたすべてのアドバイザリに記載のすべての脆弱性が修正された最初のリリース (「Combined First Fixed」) を特定できます。

このツールを使用するには、「[Cisco Software Checker](#)」ページの[手順に従います](#)。または、次のフォームを使用して、特定のソフトウェアリリースに影響を及ぼす脆弱性を検索します。このフォームを使用するには、次の手順に従います。

1. ツールで検索するアドバイザリを選択します。すべてのアドバイザリ、[セキュリティ影響評価 \(SIR \)](#) が「重大」または「高」のアドバイザリのみ、またはこのアドバイザリのみを選択します。
2. 該当するソフトウェアを選択します。
3. 該当するプラットフォームを選択します。
4. リリース番号を入力します。たとえば、Cisco ASA ソフトウェアの場合は 9.16.2.11、Cisco FTD ソフトウェアの場合は 6.6.7 と入力します。

5. [チェック (Check)] をクリックします。

2		Critical,High,Medium
このアドバイザのみ	Cisco ASA ソフトウェア	
あらゆるプラットフォーム		
Enter release number	Check	

FTD デバイスのアップグレード手順については、[Cisco Firepower Management Center アップグレードガイドを参照してください。](#)

不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team (PSIRT) は、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例やその公表を確認していません。

出典

シスコは、この脆弱性を報告していただいたDamian Poole氏に感謝いたします。

URL

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-asaftd-saml-hijack-ttuQfyz>

改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
1.0	初回公開リリース	—	Final	2023年11月1日

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。